

国営飛鳥歴史公園 キトラ古墳周辺地区のランドスケープデザイン

株式会社
ブレック研究所
株式会社 修成建設コンサルタント

安河内 泰男・重松 博美・松崎 淳
家島 義宣

キトラ古墳周辺地区は特別史跡キトラ古墳を周辺の自然環境や田園環境とあわせて一体的に守るとともに、多くの人が飛鳥の歴史や文化、風土を味わいながらゆっくりと過ごせるよう国営飛鳥歴史公園の5番目の地区として新たに開園されたものである。

設計にあたっては、計画地の特徴である谷戸の田んぼや畑、斜面の棚田、尾根部の樹林等からなる繊細な微地形が公園区域内外に連続したエッジレスな景観を尊重しながら、これらを最大限に活かし周辺の農地・集落・山並み等と一体化した公園整備をめざした。

歴史体験ゾーンの「四神の広場」では、村道との高低差を棚田状地形に石積みと植栽で分節化することにより、村道の通過車両とその騒音の影響を軽減させながら、村道を隔てた背後の古墳保全ゾーンとの景観の連続性を創出した。



展望所から臨む田園環境保全ゾーンと、背景の畝傍山・遠景の金剛鷲城山系の山並みからなる連続的な景観（撮影時刻は未定）



建物と一体となった四神の広場の施設配置（撮影時刻は未定）



古墳鑑賞広場から臨むキトラ古墳（古墳部分の撮影時刻は未定）



計画地位置図

